

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

## ライトニング FAX

### バージョン 6.00 リビジョン04 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「ライトニング FAX」(Ver. 6.00-03→Ver. 6.00-04)において、  
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

#### [強化項目]

以下の機能を強化しました。

#### [システム全般]

◎以下の OS に対応しました。

ただし、Dialogic 社製 TR1034 FAX ボードは対象から除きます。

<サーバ、ドライバ>

- ・Microsoft Windows Server 2016 Standard ※1
- ・Microsoft Windows Server 2016 Datacenter ※1
- ・Microsoft Windows Server 2016 Essentials ※1

<クライアント>

- ・Microsoft Windows Server 2016 Standard ※1※2
- ・Microsoft Windows Server 2016 Datacenter ※1※2
- ・Microsoft Windows Server 2016 Essentials ※1※2

※1: Microsoft Windows Server 2016 の Nano Server での動作には対応していません。

※2: クライアントを導入する PC の画面の解像度は 1280×800 以上にする必要があります。

◎以下の OS を動作対象から除きました。

<クライアント>

- ・Microsoft Windows Vista

#### [インストール関連]

◎以下の機能の新規インストールにおいて、IP アドレスの初期値を表示しないようにしました。

- ・ライトニング FAX サーバ
- ・ライトニング FAX ドライバ
- ・ライトニング FAX クライアント
- ・ライトニング FAX API
- ・ライトニング FAX 電子メールゲートウェイ (SMTP 版)
- ・FAX 自動送信機能

◎以下の機能において、Windows の[プログラムと機能] (または[プログラムの追加と削除])の画面に、バージョン情報を表示するようにしました。

- ・ライトニング FAX ドライバ
- ・ライトニング FAX API
- ・ライトニング FAX 電子メールゲートウェイ (SMTP 版)
- ・受信 FAX イメージ自動格納機能
- ・FAX 自動送信機能

## [サーバ機能関連]

◎自動返信機能において、ナンバーディスプレイの照合をライトニング FAX 電話帳の任意の項目でできるようにしました。これにより、ライトニング FAX の電話帳を利用する他の機能と自動返信機能のライトニング FAX 電話帳を共通で利用できるようになりました。

## [API 機能関連]

◎以下の機能において、PDF ファイルを送信イメージに変換する際、PDF ファイルの注釈を送信イメージに含めるかどうかを設定できるようにしました。

- ・ライトニング FAX API
- ・フォルダ連携機能の送信登録サービス
- ・フォルダ連携機能の受信登録サービス

◎API コマンドファイルで@CONVERSION\_MODE に LFENGINE、@CONVERSION\_FILE に PDF ファイルを指定する場合、イメージを中央に配置する設定ができるようになりました。

◎以下の機能を動作対象から除きました。

- ・API コマンドファイルの@CONVERSION\_MODE での「TXT\_TO\_TIF\_EX」の指定

API コマンドファイルで@CONVERSION\_MODE に TXT\_TO\_TIF\_EX を指定した場合、ファイル変換モードエラーとして、API コマンドファイルは Failed フォルダに移動されます。(エラー識別値番号：007)

## [電子メールゲートウェイ機能関連]

◎PDF ファイルを送信イメージに変換する際、PDF ファイルの注釈を送信イメージに含めるかどうかを設定できるようにしました。

◎PDF ファイルの TIFF 変換モードに「互換モード」を指定する場合、イメージを中央に配置する設定ができるようになりました。

◎以下の機能において、メールに含まれる半角カナを自動的に全角カナに変換するかどうかを設定できるようにしました。

- ・新規受信/送信成功/送信失敗のメール通知
- ・承認/確認送信のメール通知

## [マニュアル関連]

◎『ユーザーズマニュアル アドミニストレータ編』に、受信 FAX イメージ自動格納機能の停止方法を記載しました。

◎『ユーザーズマニュアル オプション編』に、ライトニング FAX API で外部アプリケーションが使用できないフォルダについて注意事項を記載しました。

## [改修項目]

以下の問題点を修正しました。

### [インストーラ関連]

- ・NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、VOISTAGE マルチメディアボックス基本ソフトウェアのインストールパスに半角スペースが含まれると、VOISTAGE のコアサービス設定ツールで文字が正常に表示されず、インストール手順が実行できない。
- ・NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、VOISTAGE マルチメディアボックス基本ソフトウェアのインストール先のパスを変更する画面でドライブ名を変更して画面を閉じると、インストール先のパスの最後に「¥VOISTAGE」が付加されてしまう。

### [サーバ機能関連]

- ・LFserver サービスの停止時に、トレースファイルが最大保存サイズに達していないにもかかわらず、トレースファイルが別名で保存されることがある。

### [ドライバ機能関連]

- ・NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合、受信したページが欠けているにもかかわらず、新規受信成功ステータスとなることがある。
- ・アバール長崎社製 CT Network BOX を使用している場合、ネットワーク通信が不安定な状態が続くと、その後すべての回線で FAX 送受信が失敗となることがある。(エラーコード：23114)
- ・アバール長崎社製 CT Network BOX を使用している場合、通信終了直後に同じ回線を使用した FAX 送信、もしくは FAX 受信が行われると、その後その回線で FAX 送受信が失敗となることがある。(エラーコード：23114)

### [クライアント機能関連]

- ・イメージプレビュー機能でウィンドウサイズの拡大/縮小を繰り返すと、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ライトニング FAX ビューワで 180 度回転してサーバに保存したイメージを、イメージプレビュー機能で表示すると、外端に黒線が表示される。

### [API 機能関連]

- ・API コマンドファイルで@CONVERSION\_MODE に LFENGINE、@CONVERSION\_FILE に PDF ファイルを指定した場合、以下の問題が発生することがある。
  - ・送信文書の変換中に CJSSystemPrinter プリンタドライバが停止または遅延して LFAPI がタイムアウトエラーになった場合、次の API コマンドファイルの送信文書処理時にプリンタドライバの動作が再開すると、タイムアウトエラーになった API コマンドファイルの送信イメージが今回の送信イメージとして FAX 送信される。

### [電子メールゲートウェイ機能関連]

- ・PDF ファイルの TIFF 変換モードに「互換モード」を指定した場合、以下の問題が発生することがある。
  - ・送信文書の変換中に CJSSystemPrinter プリンタドライバが停止または遅延してライトニング FAX 電子メールゲートウェイ (SMTP 版) がタイムアウトエラーになった場合、次の電子メールの送信文書処理時にプリンタドライバの動作が再開すると、タイムアウトエラーになった電子メールの送信イメージが今回の送信イメージとして FAX 送信される。

### [マニュアル関連]

- ・『ユーザーズマニュアル セットアップガイド』に、リモートデスクトップ環境でライトニング FAX クラ

インタのプリンタドライバが使用できないことが記載されていない。

- 『ユーザズマニュアル セットアップガイド』の「ライトニング FAX 移設手順」で、LFserver サービスを停止後に、LFPhnAcs サービスを停止することが記載されていない。
- 『ユーザズマニュアル アドミニストレータ編』に、LCR 機能の利用時は、マスターサーバとスレーブサーバのライトニング FAX サーバのバージョンを合わせる必要があることが記載されていない。
- 『ユーザズマニュアル アドミニストレータ編』の「ライトニング FAX サーバのイベントログについて」で、ID : 10 と ID : 11 の出力内容に誤りがある。実際には“メッセージ:”の文言は出力されない。
- 『ユーザズマニュアル オプション編』に、電子メールゲートウェイで対応している文字コードが「ISO-2022-JP」のみであることが記載されていない。
- 『ユーザズマニュアル オプション編』の「プリンタドライバのみインストールする」で、プリンタドライバのプロパティ画面で「プリンターに直接印刷データを送る」を選択することが記載されていない。

## [その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32ビット	64ビット
VMware ESXi 5.0	Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	—	○
Windows Server 2012 Hyper-V	Windows 10 Enterprise	○	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Windows 7 Ultimate SP1	○	—
	Windows 8.1 Pro	—	○
	Windows 10 Pro	○	○
	Windows Server 2016 Standard	—	○
	Windows Server 2016 Essentials	—	○
Windows Server 2016 Hyper-V	Windows Server 2016 Standard	—	○
	Windows Server 2016 Datacenter	—	○

○：確認済み —：対象外

### 注意事項

- ・次の環境では、MFP 連携ドライバについても動作を確認しています。  
Windows Server 2012 R2 Hyper-V のゲスト OS 「Windows Server 2016 Essentials」
- ・次の環境では、アパール長崎社製 CT Network BOX 用の LFdriver についても動作を確認しています。  
VMware ESXi 5.0 のゲスト OS 「Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1」  
Windows Server 2016 Hyper-V のゲスト OS 「Windows Server 2016 Standard」
- ・ゲスト OS がクライアント OS の場合、ライトニング FAX のクライアント環境として動作を確認しています。

#### <前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は、弊社では対応できません。それぞれのメーカー様、ベンダー様までお問い合わせください。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。